

平成 25 年 11 月 1 日

各 位

公益財団法人 河川財団
研究フェロー 池淵 周一
近畿事務所長 今井 範雄

河川財団 研究発表会開催のご案内について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊財団の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊財団では河川整備基金による助成事業の成果を広く公開し、河川に対する国民的理解を深めると共に、助成事業の充実を図るため東京本部をはじめ各地方事務所において、河川整備基金事業成果発表会を開催しております。

近畿事務所におきましても、財団研究成果発表と併せて河川整備基金事業成果の発表会を下記のとおり開催する運びとなりました。

つきましては、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上当発表会へのご参加を賜りたくご案内申し上げます。

なお、同封いたしました発表会開催広報用資料につきましては、ご関係の方々へもご回覧、配布等いただければ幸甚です。

敬具

記

開催日時：平成 25 年 12 月 9 日（月） 10:00～17:00（9:30 受付開始）

開催場所：OMMビル 2F 会議室

〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-7-31

■お問い合わせ先

公益財団法人河川財団 近畿事務所 担当：本山 清崇

〒540-6591 大阪府中央区大手前 1-7-31 OMMビル 13F

Tel : 06-6942-2310 / Fax : 06-6942-2118

E-mail : info-o@osaka.kasen.or.jp

河川は、地球の大動脈。私たちの明日を担う大切な存在です。本年も、多様な分野・領域で、河川整備基金助成事業による調査・研究が行われ、数々の新しい成果が誕生しています。その貴重な成果とともに、河川財団の研究成果をより多くの方々に共有財産として活用していただくために、12月9日(月曜日)、河川財団 研究発表会を開催いたします。河川の調査・研究が、より一層充実することを願って、多数の皆様の参加をお待ちしております。



公益財団法人
河川財団
近畿事務所

【プログラム | 成果発表 |

- 第1セッション ——
- ① 都市河川河口・下流域における天然アユの遡上・産卵・孵化復活に関する研究
 - ② 洪水攪乱ならびに上流域の樹木管理影響を考慮した植生動態モデルの構築
 - ③ 平成24年7月九州北部豪雨災害から学ぶこと
 - ④ 選択性吸着ディスクを応用した河川環境試料中の放射性セシウムの超迅速極微量分析手法を組み合わせた河川水中放射性セシウムの次世代型パッシブモニタリング手法の確立

特別講演 —— ● 大阪の川 よもやま話

財団研究成果発表 —— ● 水制工設置による多様な水生生物の生息環境の創出について

- 第2セッション ——
- ⑤ 中小河川における効果的な維持管理に関する実践的研究
 - ⑥ 河川流域における薬剤耐性菌の動態に関する研究
 - ⑦ 東日本大震災を踏まえた東南海・南海地震等大規模災害情報の高度化に関する研究

河川整備基金助成事業成果 及び 財団研究成果

河川財団 研究発表会

River Foundation

2013 **12**月
9日

受付◎ 9:30
開会◎ 10:00

OMMビル
2F 会議室

[定員] 180名
[参加費] 無料

主催/
公益財団法人 河川財団

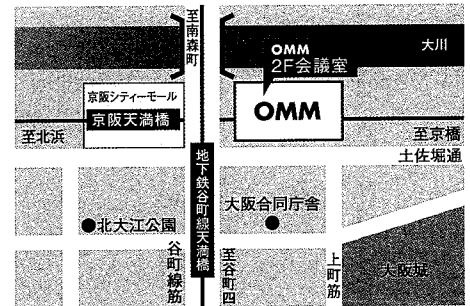
プログラム			
9:30	開場、受付開始		
10:00	開会の辞		
10:10	河川整備基金助成成果発表 第1セッション 座長：公益財団法人河川財団 研究フェロー 池淵 周一		
①	都市河川河口・下流域における天然アユの遡上・産卵・孵化復活に関する研究	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	矢持 進
②	洪水攪乱ならびに上流域の樹木管理影響を考慮した植生動態モデルの構築	埼玉大学大学院 教授	田中 規夫
③	平成24年7月九州北部豪雨災害から学ぶこと	九州大学工学研究院 特命教授・名誉教授	小松 利光
④	選択性吸着ディスクを応用した河川環境試料中の放射性セシウムの超迅速微量分析手法を組み合わせた河川水中放射性セシウムの次世代型パッシブモニタリング手法の確立	千葉工業大学工学部 建築都市環境学科 助教	亀田 豊
12:10~13:10	休憩		
13:10	特別講演 ● 大阪の川 よもやま話	伴ピーアール株式会社 天神祭美化委員会 代表取締役委員長	伴 一郎
14:30	財団研究成果発表 ● 水制工設置による多様な水生生物の生息環境の創出について	近畿事務所	中西 史尚 ◎井上 勇樹
15:00~15:20	休憩		
15:20	河川整備基金助成成果発表 第2セッション 座長：京都大学 名誉教授 井上 和也		
⑤	中小河川における効果的な維持管理に関する実践的研究	高知工業高等専門学校 准教授	岡田 将治
⑥	河川流域における薬剤耐性菌の動態に関する研究	京都大学大学院工学研究科 講師	山下 尚之
⑦	東日本大震災を踏まえた東南海・南海地震等大規模災害情報の高度化に関する研究	愛媛大学防災情報研究センター 東南海・南海地震研究部門長 京都府建設交通部 理事	木下 誠也 ◎板屋 英治
16:50	閉会の辞		

参加申し込み方法

- ◎下記の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、郵送もしくは、FAXにてお申し込みください。
- ◎e-mailの場合は、参加申し込み用紙の内容を記載し、タイトル(件名)を「研究発表会」として送信ください。
- ◎お申し込み〆切／2013年12月2日(月)

申し込み・お問合せ

公益財団法人 河川財団 近畿事務所
近畿事務所／本山
〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 (OMMビル13F)
TEL.06-6942-2310 FAX.06-6942-2118
<http://www.kasen.or.jp>
e-mail: info-o@osaka.kasen.or.jp



OMMビル (大阪マーチャントイズ・マートビル)
2F 会議室
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-7-31

- 電車でお越しの場合
地下鉄谷町線[天満橋駅]1番出口よりOMM地下2階に連絡
京阪電車[天満橋]東出口
- お車(阪神高速)でお越しの場合
環状線…北浜出口→天神橋→土佐堀通
守口線…南森町出口→東天満→谷町筋
東大阪線…法門坂/森之宮出口→上町筋→京阪東口



河川財団研究発表会 参加申し込み用紙

※お預かりした個人情報は、本発表会のご案内以外には使用しません。

氏名 フリガナ _____

氏名 フリガナ _____

氏名 フリガナ _____

氏名 フリガナ _____

連絡先
※会社名団体名等 _____

連絡先住所 〒 _____

TEL. _____

FAX. _____

e-mail. _____